



令和5年度 鹿部町出前対話ミーティング

■本日お話する内容

①令和4年度事業について(1P~15P)

②令和5年度事業の概要について(16P~22P)

①令和4年度事業について

■令和4年度事業について

企画振興課	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症対策事業・デマンドバス運行事業
民生課	<ul style="list-style-type: none">・鹿部町空家等除却支援事業
保健福祉課	<ul style="list-style-type: none">・鹿部町地域活動支援センター「ぽっぽ」利用促進事業
税務課	<ul style="list-style-type: none">・町税等のコンビニ納付
水産経済課	<ul style="list-style-type: none">・漁業振興事業・鹿部町起業・創業支援事業
子ども教育課	<ul style="list-style-type: none">・認定こども園整備事業・しかべっ子学習支援事業「しかべ学び場」
社会教育スポーツ課	<ul style="list-style-type: none">・鹿部町総合体育館大規模改修工事実施設計事業

企画振興課

■新型コロナウイルス感染症対策事業

新型コロナウイルスの感染症の拡大の防止と地域経済や住民生活を支援するために国が創設した地方創生臨時交付金を活用して、町民の生活を守り経済を立て直していくため実施する。

鹿部町への交付決定額(3月31日現在) 141,194千円

経済対策

- しかべ応援券配付事業 58,254千円
- しかべ応援券追加配付事業 29,411千円
- 交通事業者支援事業 609千円



感染予防

- 救急隊員感染症防止強化事業 3,641千円
- 公共施設との情報通信体制整備事業 1,429千円
- 公共施設利用予約システム導入事業 3,461千円
- 職員用タブレットパソコン購入事業 5,192千円
- 小中学校用電子黒板等購入事業 8,752千円
- 町税コンビニ収納事業 2,688千円



生活支援

- 水道料金減免事業 22,340千円
- 高齢者世帯等地域生活支援事業 3,759千円



■ 予約型バス(デマンドバス)運行事業

交通空白地域と路線バス乗継ぎ地点をつなぐデマンドバス運行を実施し、交通弱者の移動手段を確保する。



事業進捗状況

- ・令和4年5月から本格運行開始
- ・委託事業者:(有)北海道・函館moomoo-taxi
- ・運行地域:出来澗地区、鹿部地区の一部地域を追加
- ・運行曜日、時間帯:火・水・土、8時~15時
- ・運賃:大人100円、子ども50円、未就学児無料
- ・事前登録者数:90世帯148人(R5.3月末現在)
- ・R4.4月~R5.3月利用者数:延べ275人
- ・運行方法:令和5年1月から利用等の意見を参考に、対象地区の自宅から「しかバス」停留所までの直行便を追加(日中3便)
- ・利用方法について説明会を開催 (2か所で3日間開催、参加者19人)

今後の展開

- ・令和5年4月から、直行便の運賃を300円とする
- ・随時電話等で相談受付

鹿部町空家等除却支援事業

町内に存在する老朽化が著しく、周辺的生活環境及び地域に悪影響を及ぼしている又は及ぼすおそれのある空家等の除却促進を図り、地域住民の安全安心を確保することを目的に、空き家等の除却に要する経費の一部を補助する。

補助対象者

交付対象空家等の所有者等

補助額

専用住宅	限度額50万円(補助率8割)
その他建物	限度額15万円(補助率約3割)

事業進捗状況

・令和4年度実績

(3月末時点)

専用住宅	0件
その他建物	0件

今後の展開

除却促進を図るために、5年間の時限措置とする。6年目以降は状況を見ながら再度検討する。

鹿部町地域活動支援センター「ぽっぽ」 利用促進事業

鹿部町地域活動支援センター「しかべ・ぽっぽ館」の利用促進と障がい者の働く場の充実を目的とする。また、高齢者や子育て世代の交流の拠点となることを目指す。

令和3年5月「農かふえ」オープン

- ・野菜を使ったスイーツやスムージーの販売
- ・ベーグルの販売
- ・野菜の販売
- ・浮き球などの授産製品の販売



事業の実施状況(3月末時点)

・農かふえ	96回
・ぽっぽワーク	47回
・利用者	5人(うち新規利用者2人)

今後の展開

- ・新規利用者の確保
- ・障がいがあっても自分が暮らす場所が選択できる地域生活支援拠点の整備
- ・「地域共生型社会」の構築

地域共生型社会の構築

障がい者や子ども、高齢者などすべての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会の構築を目指す

■町税等のコンビニ納付

納税者の利便性を向上させることを目的に、コンビニエンスストアでの納付が可能となるよう総合行政(収納)システムの改修を行い令和5年度からコンビニ納付を実施する予定で事務を進める。

対象税目

固定資産税、個人住民税、軽自動車税、国民健康保険税(4税)

利用対象者

上記4税の納税義務者6,620人のうち3,188人(48.2%)が納付書(窓口)で納付している。窓口納付の方々がコンビニ納付に移行すると考えており、町税等は、期別毎に納付することになっているので、年間約5,250件の利用を見込んでいる。

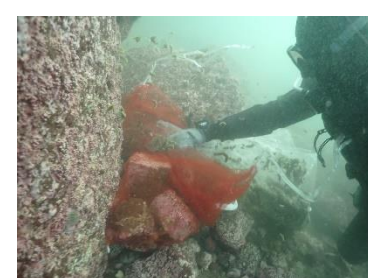
事業進捗状況

収納代行業者を選定(地銀ネットワーク)し、現在、新納付書の読取りテスト段階。スマホアプリ(PayPayなど)納付も同時導入予定。また、コンビニ納付の他に、全自治体統一の取組としてQRコードによる納付も実施予定。

■ 漁業振興事業

浅海漁業に関する主な取り組み事業

- ナマコ資源保護事業【継続】
- ナマコ中間育成漁場調査試験事業【継続】
- 昆布増殖場造成事業【継続】
- アワビ種苗放流事業【継続】
- 昆布母藻群落造成事業【新規】
- ウニ駆除処理事業【新規】



令和4年度新規事業

○ 昆布母藻群落造成事業

- ・ 立縄礁設置 ⇒ 100基(予定)
- ・ スポアバック ⇒ 150基(予定)
- ・ 昆布遊走子どもぶ漬け(石・縄)
- ・ モニタリング調査
- ・ 簡易式海藻着生施設設置

○ ウニ駆除事業

ムラサキウニの駆除を桁引漁業者に依頼し、10月から3月までの期間で採捕を予定

■ 漁業振興事業

事業進捗状況(新規事業)

○ 昆布母藻群落造成事業

- ・9月18日 簡易式海藻着生施設設置完了
 - ・9月27日 立縄礁設置 100基 設置完了
 - ・9月27日 スポアバック 200基 設置完了
 - ・10月7日 ビバリーユニット設置完了
 - ・10月15日 タイムラプスカメラ設置完了(モニタリング開始)
 - ・11月中旬 昆布遊走子どもぶ漬け(石・縄)設置完了
- ※モニタリングについては、現在継続中

○ ウニ駆除事業

昆布養殖施設付近及び沖合において、11月からナマコ桁網操業時の混獲採捕として実施中。予定駆除数量は15t。

3月末までの駆除数量は3.6t

■ 漁業振興事業

今後の展開

○ 昆布母藻群落造成事業

昆布採取部会の協力のもと、引き続き立縄礁を設置し、繁茂状況を把握するため、昆布着生試験や生育状況調査をダイバーによる目視点検やタイムラプスカメラを用いたモニタリング調査を実施します。また、鉄鋼スラグと腐植土を配合したビバリーユニット（栄養塩供給）を設置して効果的に藻場の回復に繋げていきます。

○ ウニ駆除事業

近年、ウニが大量発生しており、天然藻場の早期回復を目指すため、ウニの駆除を継続して実施します。また、次年度以降はバフンウニを含めた処理を実施します。

鹿部町起業・創業支援事業

地域課題の解決、雇用創出等に資する事業を行う町内で起業・創業する者を対象に、支度金として町が支援金を支給することにより、起業・創業の件数増に伴う地域経済の活性化と雇用創出を図る。



補助対象者

町内で起業又は創業に取り組み、自らクラウドファンディングを実施する者

補助額

起業：1事業者あたり100万円以内
創業：1事業者あたり50万円以内

事業進捗状況

創業枠での相談5件
創業枠での申請1件

今後の展開

次年度も継続して実施する

■認定こども園整備事業

現在の幼稚園舎は老朽化と耐震基準を満たしていないため建替えが必要。また、子育て支援サービスを充実させるため、幼稚園から認定こども園に移行して令和7年4月の開園を目指す。

(1) 認定こども園とは

認定こども園

幼稚園

- ・ 幼児教育を行う**学校**
- ・ **3歳～就学前**の子どもが利用
- ・ 利用できる保護者に**制限はなし**

保育所

- ・ 保護者に代わって保育する**施設**
- ・ **0歳～就学前**の子どもが利用
- ・ 共働き世帯など**家庭で保育のできない保護者**に限る

子育て支援サービス

子育て相談
集いの場
一時預かり
など

(2) 運営方法

町の限りある財源の中で多様化する保育ニーズ等に迅速に対応し、保育環境・子育て支援環境のさらなる充実を図るため「**民営化**」する。

(3) 建設場所

鹿部町津波ハザードマップによると、幼稚園が建っている現在地は津波が到達する可能性のある場所に含まれていることから、**現在地よりもバイパス寄りの土地**を建設候補地として決定しました。



(4) 今後のスケジュール（予定）

時期	内容
令和5年4月頃	保護者説明会を開催
令和5年6月頃	認定こども園を運営する民間業者を選定
令和6年4月頃から	認定こども園施設の建設工事開始
令和7年3月	しかべ幼稚園が閉園
令和7年4月1日	認定こども園が開園

■しかべっ子学習支援事業 「しかべ学び場」

「しかべ学び場」では、子ども自ら学習したい教材を持ち込み学習する自学自習を基本としており、一人ひとりが自分に合った学習スタイルを習得できるよう学習支援員がサポートする。

学習は**課題**を持ち込むことから始まる



自分で持ち込む

課題を忘れる

自分で設定できない

自学自習

- ◆サポートスタッフによる適切なアドバイス
- ◆個に応じた課題の提供

対象者 : 小学5年生から中学3年生まで

会場 : 中央公民館

教科 : 【小】算数・英語

【中】数学・英語

参加料 : 無料



■鹿部町総合体育館大規模改修工事実施設計事業

鹿部町総合体育館は、建設から25年以上が経過し、屋根の腐食による雨漏りや外壁等の老朽化が激しく、近年は、不良個所を都度、補修・修繕しておりましたが、令和5年度に向けて大規模改修を行うため、体育館利用者等から意見をいただいた上で、本年度に実施設計を行う。

●工事概要(主な改修場所)

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・ストレッチルーム、更衣室 他



■鹿部町総合体育館大規模改修工事実施設計事業

事業進捗状況・今後の展開

当初予定していた改修工事内容に追加があったため、設計業務の期間の延長及び契約金額の変更を実施

- ・契約期間：5/25～11/30⇒5/25～3/31（4ヶ月延長）
- ・委託金額：5,720千円⇒9,526千円（3,806千円増額）

マストで改修するのは①外部改修（屋根補修等）、②内部改修（床補修等）、③設備改修（老朽管更新等）とし、エアコンや太陽光発電、防災関連はゼロカーボンと併せて検討する。令和5年度で実施するのは外部改修及び一部の外構工事とアリーナ電灯のLED化工事。令和6年度以降は内部改修、設備改修、その他の改修とする。

②令和5年度事業の概要 について

■令和5年度事業の概要について

保健福祉課	高齢者等移動支援事業(地域交通クーポン配付事業)
水産経済課	鹿部町商工業振興事業補助金
漁業振興室	人工礁造成事業
子ども教育課	子育て支援事業

■高齢者等移動支援事業 (地域交通クーポン配付事業)

令和5年度予算

- ・事業費:5,144千円
- ・財源内訳:5,144千円 (過疎対策事業債)

1. 事業内容

在宅の高齢者及び重度心身障害者の日常生活における経済的負担の軽減と社会活動の範囲の拡大を図ることなどを目的に、クーポン券を配布し、地域公共交通利用料金の一部を助成するもの。

2. 助成対象者

- ①75歳以上の高齢者 772名
- ②重度心身障害者 52名

※申請率50%見込みで400名分予算措置

3. 助成額

1人あたり12,000円(100円×120枚)

※100円券5枚綴りを24ページとする予定



クーポン券イメージ

鹿部町商工業振興事業補助金

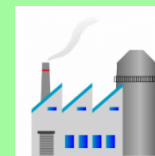
令和5年度予算

- ・事業費：10,000千円
- ・財源内訳：10,000千円(一般財源)

目的：商工業振興を図る事を目的に、商工会員事業者を対象に、事業持続的発展に寄与する設備投資・人材雇用を支援する

●補助対象者【次の事項にすべて該当する者】

- ・商工会の会員である中小企業者(定款会員含む)
- ・事業を営むにあたり、必要な許認可を受けている者
- ・鹿部町特定滞納者等に対する制限措置に関する条例に規定する特定滞納者等に該当しない者



●補助対象事業

- (1) 設備投資事業(事業用施設新築、事業用備品購入等)
- (2) 人材確保事業(雇用数の増に係る必要経費)

●補助率

実施事業により1/2以内又は2/3以内(限度額あり)

「外部評価」の導入 ※申請事業の評価方法を改善

◆事業評価委員会の設置

○構成委員(委員の所属や氏名は非公表)

学識経験者 (中小企業診断士)

専門的知識を有する者 (中小企業支援機関代表者)

町長が必要と認める者 (町内金融機関の代表)

◆事業評価方法

「鹿部町産業振興基本条例」に基づき事業評価項目を設定

委員が申請事業を評価(採点)

鹿部町が結果に基づき補助採択(又は不採択)を決定

■人工礁造成事業

人工礁造成事業の目的

近年、海の環境変化等が影響し、天然昆布の漁獲量が年々減少している現状であり、現在も昆布採取漁業者は、組合員の半数近くが着業しております。

天然昆布をはじめとする浅海資源が今後より一層重要なものとなっており、資源回復のため、鹿部町の主要魚種であるホタテ養殖の副産物であるホタテ貝殻を利活用し、藻場としての活用や様々な水産物の環境改善を図ることを目的としております。

人工礁造成事業内容

- ・割石(パワフルユニット) 3.0t ⇒ 62基(予定)
- ・割石・ホタテ貝殻(ボルトユニット) 3.0t ⇒ 70基(予定)
- ・ホタテ貝殻(ボルトユニット) 3.0t ⇒ 76基(予定)

■子育て支援事業

「子ども未来きらきらプラン」をもとに、5年度から3ヶ年計画で、新たに子育て支援事業に着手する。

● 令和5年度から開始

事業名	内容	事業費
新生活応援給付事業	中学校・高校卒業時に各10万円を支給する	5,400千円
高校生応援給付事業	月額1万5000円を支給する	15,660千円

● 令和6年度から開始

事業名	内容	事業費
教材費無償化事業	幼稚園、小・中学校の教具費を完全無償化する	600千円
教育旅行無償化事業	小・中学校の宿泊研修、見学旅行費を無償化する	3,205千円
中学校制服無償化事業	中学校の制服、ジャージを購入費を無償化する	3,003千円
給食費無償化事業	幼稚園、小・中学校の給食費を無償化する	13,447千円
給付型奨学資金事業	UIJターンする方の奨学金の返還を免除する	2,112千円

● 令和7年度から開始

事業名	内容	事業費
地域子ども・子育て支援事業	鹿部町子ども・子育て支援事業計画に基づき実施する	5,400千円
認定こども園保育料の完全無償化事業	認定こども園保育料を国の公定価格に設定した上で無償化する	8,760千円
認定こども園の安定的運営事業	認定こども園の安定的な運営を支援するため、保育士確保に関する助成、定員充足に関する助成、特別に支援を必要とする園児の受入に関する助成を行う	21,515千円

町内に住む子育て世代の方々が安心して子どもを産み、経済的な不安なく子育てすることができる環境づくりを行うことはもちろん、町外からの移住定住にもつなげていきたい。

■意見交換・質疑応答

- 令和4年度事業及び令和5年度事業の概要について
- 町の政策全体について
- 確認したいこと など

ご意見・ご質問は
ございますか？





令和5年度 鹿部町「出前対話ミーティング」

ありがとうございました

